

課題名：選果施設を中心としたキュウリとナスの産地強化（課題1）

（対象：中部農業事務所普及指導課）

【評価できる点】

- (1) 技術指導は評価できる。生産者の思いをうけとめ試行錯誤しながら収量向上を図り、環境技術に取り組んでいる姿勢が伺える。
- (2) 既存の施設を最大限活用するための方策が適宜とられている。粗選別は全体の選果効率を高めるために必要だと思われる。
- (3) LINE の活用やオンラインでの意見交換会の実施など活動手法を工夫されている。
- (4) キュウリの 10a 当たりの収量が増加したのはとても良い。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 選果場の効率は、どの程度増産受け入れが可能かの試算をしないと、増産しても受け入れができなければ、根本的な課題解決にならないと思う。
- (2) 選果場の処理能力を向上させる手段は、選果場の作業手順や作業方法等、他にも要因はあるかと思われる。
- (3) 選果施設の活用について、粗選別による効率化を進めることで、農業者にどのようなメリットがあるのかが不明。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 管内農業者数に対して勉強会等の参加者が少なすぎる。より多くの農業者を取り込まないと、活動が衰える可能性がある。
- (2) 若手農業者や新規就農者に対する支援を強化していただきたい。